

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

目次	1面	令和3年度芦別市教育行政執行方針
	2面	芦別中学校区コミュニティ・スクール活動で芦別クリーンDayを実施 小中一貫教育「星の降る里あしべつ」に愛着を持つ子の育成
	3面	GIGAスクール構想によるICTを活用した学習が本格的にスタート
	4面	リレーでつなぐ学校紹介(芦小)・学校における働き方改革の推進

令和3年度芦別市教育行政執行方針

本市では、芦別市教育大綱の基本目標である「地域とともに、学ぶよろこびを実感できるまち」の実現に向けて、毎年度、芦別市学校教育推進計画を策定し、この計画において4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいます。

☆ 学ぶ力の育成 ☆

子ども一人ひとりが自ら課題を見つけ・学び・解決するために必要な「学ぶ力」の育成を図ります。

- 振り返りによる深い学びを実現する授業スタイルの定着
- 学習サポート教員・特別支援教育学習支援員の配置等による、特別支援教育の推進
- 小学校高学年における教科担任制を実施し、専門性を高めた授業実施への取組
- 9年間を見通した教育を目指す小中一貫教育の推進
- キャリア教育の推進
- GIGAスクール構想による1人1台端末を活用したICT教育の推進



☆ 豊かな心の育成 ☆

子ども一人ひとりの人格のよりよい発達を促すため、生命を大切にする心や、他を思いやる心など、「豊かな心」の育成を図ります。

- 「考え、議論する」道徳教育の充実
- 炭鉄港や文化財など地域の教育的資源を活用したふるさと教育の推進
- いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取組の充実
- 朝読書や読書週間をとらして読書に親しみを持ち、読書の楽しさを実感する取組推進



☆ 健やかな身体の育成 ☆

子ども一人ひとりが、積極的に心身の健康の保持増進を養う能力の育成を図ります。

- 新型コロナウイルス感染症についての正しい理解と、感染予防の徹底
- 各学校における、縄跳びやマラソンなど「一校一実践」による体力・運動能力の向上
- 「早寝早起き朝ごはん」「望ましい生活習慣」の定着
- 市の保健師等による健康教育の充実
- 栄養教諭による食育指導の推進



☆ 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進 ☆

学校・家庭・地域の三者が情報共有し、一層信頼される学校づくりに取り組みます。

- コミュニティ・スクールを活用し、保護者や地域住民の学校運営への参画・協働による体制を確立
- 「学校だより」や「教育だより」等による学校運営や教育活動の情報の共有化
- 学校関係者評価に基づく学校経営、教育活動の改善と充実

芦別中学校区コミュニティ・スクール活動で芦別クリーンDayを実施

令和元年度に活動をスタートした本市のコミュニティ・スクール。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、制約がある中での活動となりましたが、地域の皆さんのご協力をいただきながら、芦別中学校区・啓成中学校区それぞれ様々な活動を行ってきました。

令和3年度は、各中学校区の学校運営協議会が中心となって、コロナ禍の中でもできることを考えながら、ふるさと芦別を担う子どもたちのための活動に取り組んでいきます。

芦別中学校区では、「芦別クリーンDay」を4月16日に実施しました。小・中学校統一の行動として、登校時に一斉にごみ拾いをし、環境美化の意識と協働性を高めることをねらいとした、地域貢献・奉仕活動です。（右の写真）



当日は天気も良く、児童・生徒がごみ袋を手に元気に挨拶をしながら登校し、芦別小学校ではボランティアごみ袋が9袋分、芦別中学校では4袋分のゴミが回収されました。「家庭学習強調週間（ファミリー・スタディーウィーク）」とともに、今後も継続して取り組んでいく活動のひとつとなることが期待されます。

なお、教育委員会では、学校からのニーズに応えるため「学校支援ボランティア」の募集を行っています。「芦別クリーンDay」や「家庭学習強調週間」など、保護者や地域の皆さんのご協力により実施できる取組が、数多くあります。

教育活動に係るボランティアに関心のある方は、教育委員会学務課へご連絡ください。

小中一貫教育で「星の降る里あしべつ」に愛着を持つ子の育成

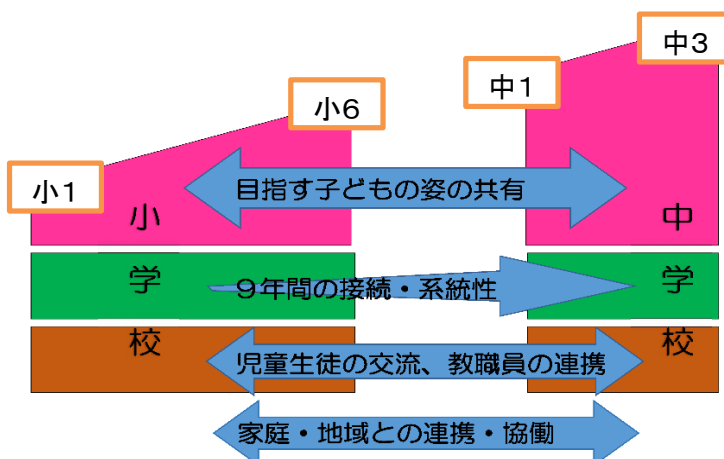
4月26日に令和3年度第1回芦別市小中一貫教育協議会が開催されました。市内小中学校の教職員・芦別市教育振興会の構成員をもって組織され、今年度から本格的に導入となった、「芦別市の小中一貫教育」について、芦別中学校区・啓成中学校区それぞれが『「星の降る里あしべつ」に愛着を持つ子の育成』をスローガンに、目指す子どもの姿を見据えて、今年度の活動の重点について活発な話し合いが行われました。

芦別中学校区では芦別小学校が今年度から2年間、北海道が推進する「学校力向上に関する総合実践事業」の中核校として指定を受けたことから、学校力向上に重点を置き、学習スタイル（板書）の統一を図り、理科や外国語での乗入れ授業の実施、ICTの活用方法の情報共有などの活動を行っていくことが、話し合われました。

啓成中学校区では、キャリアノートの検証と改善に重点を置き、中1ギャップの解消を目的とした部活動交流の実施、小中学校双方の教職員が授業を参観する授業交流などの活動を行っていくことが、話し合われました。

両中学校区共通の取組としては、年間の活動計画の見える化を図るため、それぞれの中学校区において「小中一貫教育推進プランニングシート」を作成することとしました。

このプランニングシートを有効に活用し、小中学校の教職員が共通認識のもと、スローガンに掲げる子どもの姿を見据えながら、本市の小中一貫教育の推進を図ってまいります。



GIGAスクール構想によるICTを活用した学習が本格的にスタート

文部科学省が進める「GIGAスクール構想」により、小中学校の通信ネットワークや1人1台端末の整備が行われ、新たな教育活動がスタートします。

芦別市では3月末で各小中学校の整備が終了し、児童生徒1人に1台、Chromebook（クロームブック）というタブレット型端末が導入され、今後この端末を活用して、次のような様々な学習活動を行っていきます。

☆GIGAスクール構想とは？☆

GIGAとは「Global and Innovation Gateway for All(グローバル アンド イノベーション ゲートウェイ フォー オール)」の略です。

これからの時代に向けた教育環境の整備を行い、1人ひとりに合った最適な教育を全国で実現させる構想で、「1人1台端末」と学校における高速通信ネットワークを整備する国の政策です。

タブレットなどICTを活用する学習場面

学級全体で一斉に行う学び



実物投影機等を活用し、教科書や学習プリント、画像や動画などを拡大して提示することができます。

動画等の教材を使用することで、子どもたちの興味・関心の喚起につながるとともに、学習活動を焦点化し、子どもたちの学習課題への理解を深めることができます。

1人ひとりに応じた個別の学び



デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となります。また、1人ひとりの学習履歴を確認することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となります。

子ども同士の協働的な学び



タブレット型端末や実物投影機等を活用し、子どもたちが自分の考えを学級全体やグループに提示して発表したり話し合ったりできます。

自分の考えを整理して伝え合うことができたり、互いの考えを視覚的に共有することにより話し合いが深まり、新たな表現や考えに気づくことができます。

健康への配慮と「情報モラル」の指導について

ICT機器とは、コンピューター、タブレット端末、携帯電話、プロジェクタ、デジタルカメラなどの情報機器のことです。



子どもたちがICT機器に触れる機会が、これから多くなることが予想されます。学校では、ICT機器を長時間使用することによる目の疲労や、姿勢の悪化への影響について指導し、子どもたちの健康面に配慮しながら、授業等でICT機器を活用していきます。

そのほか、「情報モラル」に関わる指導も行っていきます。例えば悪気なく書き込んだ言葉で相手を傷つけることのないよう、ネットワーク上でも相手を思いやったコミュニケーションが必要であることや、インターネット上に個人を特定する情報を書き込まないこと（個人情報や著作権・肖像権等）など、情報機器や通信ネットワークを活用する際の、基本的な態度や考え方を身に付けさせる指導に今まで以上に取り組んでいきます。

～リレーでつなぐ学校紹介～

リレー方式で市内の教育機関の取組を掲載しています。

第3回は
芦別小学校！

🌟 コロナになんて負けないぞ！がんばる芦小っ子 🌟

昨年はコロナ禍のため、様々なことに制約・制限が設けられました。そんな中でも芦別小学校は児童会を中心に「今、できること」を模索しながら活動を続けてきました。「密」を避けるため、学年単位でしか集まることができなかった中で、異学年交流ができたのは児童会活動だけです。その取組を一部紹介します。

☆児童会・代表委員による「朝のあいさつ運動」（月2回、ボランティアの方々と）

☆代表委員による「いじめ根絶キャンペーン」（全校ビデオ放送+ポスター掲示）

☆各委員会による自主的な活動

例) 図書委員会による「読み聞かせ」「ペープサート(紙人形劇)」

広報委員会による「芦小パンフレット」作成

保健委員会による「感染症予防対策」のよびかけ

(全校朝会時に校内ビデオ放送で)・・・など

☆コミュニティ・スクールの取組と連動して「芦別クリーンDay」参加

☆6年生による「1年生の朝のお世話」（スタートカリキュラム）

上の学年の児童が下の学年をリードする、その伝統は脈々と受け継がれています。これからもがんばれ！芦小っ子！

芦別小学校 校長 有村 宏紀



学校における働き方改革の推進

現在、学校を取り巻く環境は、複雑化・多様化し、教職員は様々な教育課題への対応を求められ、教職員の多忙化は深刻な状況となっています。

市内小中学校の時間外在校等時間（在校している時間から、正規の勤務時間を除いた超過勤務時間）について、今年2月の実態では、下の表のとおりとなっています。

教職員がやりがいをもって生き生きと働くことができる環境を整え、子どもたちと向き合う時間を確保することは、結果として、子どもたちの健やかな成長につながっていきます。

学校種別	時間外在校等時間		
	45時間以下	45時間～79時間	80時間以上
小学校	68.4%	31.6%	0.0%
中学校	55.2%	27.6%	17.2%

各学校では、業務の改善や見直しを進

めているほか、学校閉庁日（年9日）、定時退勤日（月2回）、部活動休養日（週当たり2日以上）を設けるなどの取組を実施しています。



教育委員会では、学校における働き方改革推進プランを策定し、教職員の仕事と生活の調和を図り、心身の健康を確保するとともに、子どもたちの教育活動の充実に向けた取組を進めてまいりますので、市民の皆さんの

保護者・地域の皆さまへ

ご理解とご協力をお願いします。

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」（様式自由）にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp